癌化学療法輸液約束処方　骨軟3

癌種　骨軟部肉腫

レジメン名　骨軟3　ADM単独療法

薬 品 名 （商 品 名）	一　般　名	略号	標準投与量	投与経路	投薬期間	休薬期間	1クール期間
ドキソルビシン	ドキソルビシン	DXR	30 mg/m^2	div	DAY 1, 2	19日間	21日間

＜DAY 1, 2＞ div
① NS 50ml + デカドロン 8mg　1A　/ 5分
② NS 50ml + アザセトロン 10mg 1A / 5分
③ NS 50ml + ドキソルビシン　　mg / 30分
④ NS 50ml / 5分

〈備考〉

1.骨髄抑制

① 投与10日後頃から低下する。

② WBC2000を目安にノイトロジン 150μg/日を数日皮下注し、WBC10000を目安に中止する。

③ うがい、マスクをする。外出を禁じる。

④ WBC低下し続ける場合は抗生剤、グロブリン製剤を投与する。

⑤ PLT 2.0×10^{4}を目安に血小板輸血を行う。

2.悪心、嘔吐

① 投与後数時間で必発し、1～7日ぐらい持続する。

② 悪心、嘔吐時、ナウゼリン坐薬60mgを使用する。症状改善なければセロトーン1A静注（1日2Aまで）、またはプリンペラン 5A + 生食 100mlを点滴静注する。

3.心機能障害

① ADM投与中は心電図モニターを設置する。

② 投与終了1週間後に心電図、胸部X-Pを施行する。

③ 投与中から投与後4週はノイキノン 30mg 3×/日を内服する。

④ ADMの総投与量は350mg/m^{2}までとする。

4.脱毛

① 約2週間後に必発するが投与終了後3ヵ月頃より新たに生えてくる。

5.血管外漏出による壊死

① 患部氷冷し、デカドロン 8mg + 1%キシロカイン 4mlを漏出範囲よりも広めに数カ所から中心に向かって皮下に27Gで局注する。

6.動注による皮膚壊死

① リンデロンDP軟膏塗布、プレドニン 30mg/日内服（漸減）。

H21.4.28作成
H27.10.1 改訂